

WEEKLY

一宮

題字 PG 安野謙次



重文「陵王」面 真清田神社蔵

Rotary



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日
●事務局 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話(0586)24・1931 ・491-0858



未来を描こう、笑顔でつなごう

URL:<http://rc138.org> E-Mail:rc138@lily.ocn.ne.jp

2023年3月2日 第3539回例会

プログラム

米山奨学生送別例会

カルキ・ダル・バハドゥルさん

国歌「君が代」
ロータリーソング「奉仕の理想」

3月度のプログラム

- 2日 米山奨学生送別例会 カルキ・ダル・バハドゥルさん
- 9日 地区補助金事業報告会 内藤幹夫君
- 16日 卓話 谷口義則氏 名城大学教授
- 23日 卓話 平松正光氏 (オリエンタルビル(株)常務取締役)
- 30日 休会 定款第7条第1節d-1

会員誕生日おめでとう

- 加藤恭平君(3月 4日) 吉山佐人規君(3月12日)
- 西川隆造君(3月 12日) 川松保夫君(3月13日)
- 墨 大輔君(3月15日) 佐藤博之君(3月19日)
- 佐々木久直君(3月23日) 渡邊 肇君(3月25日)

会員夫人誕生日おめでとう

- 長谷川勝久君夫人 響 子様(3月 9日)
- 鈴木清美君夫人 知 恵様(3月11日)
- 近藤尚文君夫人 勢津子様(3月14日)
- 土川保夫君夫人 美智子様(3月18日)
- 森 俊夫君夫人 理 栄様(3月28日)
- 青木俊憲君夫人 浩 子様(3月30日)
- 村川文穂君夫人 聖 子様(3月31日)

結婚記念日おめでとう

- 鈴木清美君(3月 1日) 長尾昌浩君(3月 8日)
- 滝 善藏君(3月 9日) 鎌田芳彰君(3月10日)
- 安藤和人君(3月13日) 宮田智司君(3月18日)
- 藤原基弘君(3月19日) 山口元彦君(3月21日)
- 森 克彦君(3月22日) 森 初男君(3月23日)
- 西川隆造君(3月23日) 安藤滋朗君(3月23日)
- 牛田 猛君(3月30日)

第3537回例会の記録 2023年2月9日(木)

次回の予定

地区補助金事業報告会
社会奉仕委員長 内藤幹夫君

会 長 関 戸 徹	会長エレクト 足 立 誠
副 会 長 青 山 佳 裕	副 幹 事 富 田 隆 裕
幹 事 吉 田 真 人	会報委員長 熊 田 慎 二

会長挨拶

関戸 徹

神田真秋様、今日はいよいよお別れでした。
神田さんは皆さんご存じのように1989年一宮市長になられたわけですが、その年にはやった曲というところ、一番は PRINCES, PRINCES の「DIAMOND」ですね。卓話にお迎えするのに、ふさわしい曲があつてよかったです。ほかにも、この年は昭和天皇の崩御、それに伴う「昭和から平成」への元号の変更、美空ひばりさんがお亡くなりになったり、ベルリンの壁が崩壊したのもこの年ですね。映画では、松田優作、高倉健のブラックレイン、魔女の宅急便、BUCK TO THE FUTURE PART II などがあります。

まさに神田さんにとっても、日本にとっても、世界の政治の面でも、激動の年だったわけです。今日のお話はおそらくこのあたりから始まるはずですので、前振りとしてこんな内容にしてみました。

ロータリーの友2月号紹介

村手 誠

表紙の見開きの写真は、「金棒ロケット」という題名で宇宙空間を漂うロケットの様な写真ですが、トゲトゲ部分は公園で集めたドングリでできており、この宇宙空間も作業場の床で作成されたものだそうです。2月らしく鬼をかなたに追いやってくれそうですね。

横組みの記事には、2月が平和構築と紛争予防月間ということで8頁に報道写真家千葉康由さんの世界各地で撮影された写真が特集として掲載されています。ロシアのウクライナ侵攻をはじめとして考えさせられるものばかりです。

20頁には大阪ロータリークラブ創立100周年を祝う様子が掲載されており、22頁では世界ポリオデーで取り組まれた各地のクラブの活動も掲載されています。そして37頁には地区大会の略報として私たち第2760地区も紹介されておりますので是非ご覧ください。セブン銀行特別顧問であり東洋大学理事長の安齋隆さんの記念講演要旨が掲載されています。「他者のために生きる」とのタイトルどおり他者のために歩んでこられた安齋さんの精神は、ロータリークラブ四つのテストの行動規範にも当てはまるものです。こちらも是非ご覧ください。

委員会報告

ニコボックス

熊澤智宏

☆ 佐々木久直君

本日は元当クラブの名誉会員で在られ、前愛知県知事・神田真秋様をお迎えした喜びで。公務にて大変お忙しいところ、卓話をお引き受けいただき誠にありがとうございます。本日の卓話を楽しみにしておりました。宜しく願いいたします。

☆ 森 俊夫君

このたび次女が結婚しました。婿が我が家の跡取りです。ただし会社の跡を継ぐわけではありません。宜しく願いいたします。

☆ 内藤幹夫君

2月4日に開催されました「子ども食堂の日」において皆様のご協力で無事に終了できましたことを心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。

☆ 江崎正和君

第3回IRG会を案内させていただきましたが、曜日に誤りがありましたので、この場で訂正させていただきます。正式には4月25日(火)です。沢山のご参加宜しくお願いします。

☆ 関戸 徹君 吉田真人君

本日、神田真秋前知事に卓話を頂く喜びで。

また東京赤坂ロータリークラブの石原康行様をお迎えする喜びで。

出席報告

現在の会員数	110名
ビジター出席数	1名
本日の出席数	62名
前々回の出席率	100%

***** プログラム *****

神田真秋氏

(元名誉会員 前愛知県知事)

テーマ「あるイベントの思い出～一宮に森を作る～」



一宮ロータリーの卓話にお招きいただき、有難うございました。

本日は、一宮市長時代の思い出話をしたいと思います。市長時代の私は、若かっただけに少し気負いもあって、地元一宮で永く後世に残るもの、できれば自然や文化に根を下ろしたものを作りたいと考え、いろいろ模索していました。そして、ある時、確か行政関係の雑誌で見たと記憶していますが、ウクライナのキエフ(キーウ)がとても緑豊かで美しい街であることを知り、ぜひ「森づくり」をしたいと強く思うようになりました(そのキエフは、昨年来のロシアによる侵攻ですっかりその姿を変えてしまいました)。とは言え、そもそもどうしたら森ができるのか、都会の中では無理ではないか、できるとしても何十年、何百年もかかるに違いないと、その手法も具体像も浮かんできませんでした。

そんな時に出会ったのが、横浜国立大学の宮脇昭先生でした。ある講演で先生の話聞き、「ああ、これだ」と思い、すぐに先生の所に走って行きました。宮脇先生の理論はとてもシンプルです。どの地域にも見られる「鎮守の森」にヒントがあります。なぜ鎮守の森はいつも鬱蒼と豊かな緑を蓄えているのか。それは、

(1) シイ、タブ、カシなど、その土地本来の樹木で構成されていること。

(2) 高木や亜高木、低木や下草など混植による重層構造になっていること。

(3) やたらと人の手が加わっていないこと。などにあると言うのです。宮脇先生は、その森づくりの実践をドングリから育てた「ポット苗」を使って、日本中で、また世界でも、数限りなく植樹を行ってこられた方でした。宮脇先生の話聞いて、私は胸が高鳴るのを禁じ得ませんでした。そうして開催したのが、今から25年ほど前の平成9年5月に開催した第1回一宮植樹祭『ふるさと森づくり』です。場所は木曾川河畔、一宮タワーにほど近い大野極楽寺公園で、当日は約4000人の市民の皆さんに集まいただきました。残土で盛り上げた小山になった場所で、宮脇先生の指導のもと若いも若きもそれぞれそ夢中になって苗を植えました。その数は4万本にもなります。植えている人たちは、これ

が本当に森になるのかと半信半疑であったと思いますが、春の一日気持ちのいい汗を流して、心から植樹を楽しんでおられました。

その植樹祭から25年ほどが経過した現在の姿は、誰が見ても立派な森となっています。実はその姿は、植えてから10年ほどで既にでき上がっていたのです。宮脇先生は言います。植えて5年もすればお金をかけて管理する必要はないと。そう、いまではほとんど何も手入れすることなく、青々とした緑が根づいています。

私はそれからしばらくして知事に転ずることになりましたが、その後この宮脇方式による森づくりは一宮で継続されてきました。3回目の西尾張中央道の植樹帯、5回目の梅ヶ枝公園鉄道高架沿いでした。いずれも現在元気な森や林の姿を見ることができます。一宮市では、これまで合計19回にわたりこの宮脇方式の植樹を行い、延べ本数は実に14万54本を数えるに至っています。これほどやりがいのある仕事はないと、私は考えています。

言うまでもなく森林の効用には、都市景観や人の心をなごませる心理的効果、防災や生物多様性など様々ありますが、何と言っても今の時代の注目は「環境」への貢献です。温暖化防止、大気の浄化、ヒートアイランドの抑制など、地球にとって最重要の課題となっています。緑は、私たちが子どもの時に学んだ「光合成」によって、大気中のCO₂が植物の中に吸収され固定化されます。いわゆるカーボンニュートラルというわけです。

2020年に菅総理大臣は、「温室効果ガス2050ゼロ」を宣言しました。地球温暖化の原因の最大のものはCO₂で、IPCCの報告によればCO₂が原因の76%も占めるといことです。一昨年英国で開催された気象変動枠組条約COP26でも、また昨年インドで開催されたCOP27でも、温室効果ガスの削減は最重要の課題として真剣に討議されています。

宮脇先生の森づくりは、これに貢献できる優れた手法です。先生の活動は世界各地に及んでおり、生涯3000万本の本を植えたと言われています。その理論と実践例については、先生のたくさんの著書に記されています。皆さんもぜひ一度読んでみて下さい。とても分かりやすい本ばかりです。宮脇先生が亡くなられ、昨年立派な追悼集が出版されました。私はそこにささやかな一文を書かせていただきました。

私は、この一宮がこれからさらに森や林を増やし続けて地球環境に貢献することを願っています。どうか皆さんも、ぜひご協力下さい。一宮市ではちょうど昨年、緑化条例ができたところですので、いいチャンスだと思っています。

ご清聴、まことに有難うございました。

第3538回例会の記録

2023年2月18日(土) 16:00～

ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋

16日(木)の例会変更

西尾張分区分IM全員登録



山田一仁君がクラブ代表者として「たいのしいロータリー」の発表

次年度ガバナー補佐 則竹伸也君挨拶